

【開催日時】 ２月１５日（月）１４：００～１５：３０

【場 所】 校長室

【参 会 者】 藤本 隆司 様（本校教育活動支援員）、鉄本 佳代子 様（第二新緑自治会長）、
佐々木 信子 様（スポーツ推進委員）、石 部 巧 様（鳥飼東公民館館長）、
堤 あけみ 様（主任児童委員）、校長、教頭（計７名）

【内 容】

（１）授業の様子（参観）→５・６時間目

（２）前回（１２／１０）以降の学校の様子

○６年生が、修学旅行による平和学習の報告を iPad で行うなど、新しい取組みにチャレンジして、一定の成果を収めた。

○６年生は、外国語の授業でも iPad を活用し、『冬休みの過ごし方』についてプレゼンテーションアプリを使ってグループ毎に上手く紹介することができた。

○２月５日の研究発表会に向けて、事前研修も含め、校内研究授業が積極的に行われた。

○本校の研究テーマに沿って自分の考えをノートにまとめ、それをもとにペアやグループで話し合い活動をさせる授業を進めた。

○「何故そう思ったのか？」などについて、自分の考えを書かせ相手に伝える指導を心掛け、それらがきちんと書けているものを廊下や階段などの掲示板上に掲示した。

（３）令和２年度の学校経営計画の総括

○新型コロナウイルスの影響を受け、当初の予定を大きく変更したため、計画どおりには進められなかった。しかし、子どもたちの思い出をつくることに力を入れ、感染防止策を行った上で、可能な限り学校行事を実施した。

○学校アンケート等の結果から、目標が達成できたものもあれば、達成できなかったものもあった。数値の結果のみに捉われることなく、そこに至る過程を踏まえ、次年度へ活かしていきたい。

（４）質疑・応答

○協議の前に毎回、授業参観をすることにより、子どもたちの生の様子を実際に見ることができて良かった。

○６５インチの大型テレビやタブレットなどの ICT 機器が導入され、環境整備が進んでいて良かった。

○どちらがいいのか分からないが、クラス（担任の先生）によって、授業規律の違いを感じた。

○学校アンケート（学校教育自己診断）の保護者の結果から、特に「いじめに関する学校の取組みの内容が分からない」という数値が高く、アンケートを取った後に具体的な取組みに関するプリントが配付された。アンケートを取る前にそのような印刷物が配られていれば、保護者の方も分かり易かった（答え易かった）のではないかと。

○学校 HP などによる情報の発信は大切だが、どのように保護者の関心をひくかが、今後、大切ではないか。

※次年度、６月に日程調整の上、学校協議会を開催予定。